

会議での委員の発言を受けての取組項目

項番	発言主旨	取組項目
1	オレンジリボンフェスタの団体の人たちの構成メンバー、誰が中心となり、コアとなっているのかとか、その周りが何でそこにみんなが関わろうと思っている方がいてるのかということに注目している。	取組み3 市民公益活動を行う団体メンバーの人材育成支援
2	小学校という所をもっと活用できたらいいのにとこの思いがある。地域活動の拠点が結局課題じゃないですか。そういう時に学校を使わせてくれるっていったら、すごく安心感がある。	取組み5 市民公益活動を行うための拠点確保の支援
3	子ども食堂をやるにしても、何か活動したい時に、場所がないという話がすごくあって、場所探しにみんな苦労している。	
4	堺市は、NPOとか市民団体へ寄附する場合に、一旦市へ寄附し市からその団体へ寄附を回すことで税の控除を受けられる仕組みを作った。	取組み6 市民公益活動のための費用確保の支援
5	茨木市は商工会議所が2か月に一度、意見交換会をしている。うまくPRができると、子どもたちも関わってくれる可能性は高い。	取組み7 市民公益活動や協働に関心のある市民への機会提供
6	行政の縦割りの状況というのを本当に痛感しました。そのあたりもまちづくりとなると縦割りではうまくいかないことも大きくある。	取組み10 協働の推進状況の把握・検証と結果公表
7	宝塚市は、市役所を中心に協働がうまくいっている好事例集を編集して冊子を作っている。	
8	鳥飼北小校区の学校協議会という会合に参加したら、有効なツールの紹介があったが、その情報が市役所各部門で共有されていない。	取組み11 市役所の協働力を高めるための機能の充実
9	大阪市の地域公共人材という、地域に入っているいろいろな無償で手伝ってくれる専門家のリストがある。	③ 協働のまちづくり人材バンクの設置検討
10	ボランティアできる方の絶対数が減ってきている。各校区で、どなたがどんな活動をしているかという一覧表を作ろうと思っている。	
11	団体に全然属さずに活動している人が意外にいると思う。そういう人にいかにアクセスし、活かしていける仕組みも入れていった方がいい。	

会議での委員の発言を受けての取組項目

項番	発言主旨	取組項目
12	中間支援組織が、日常どういふことをやっているかという、例えば、自治会と一緒に自治会の課題を解決していこうとか、何か後押しになるようなことができたというような取組みをしている。	⑤ 中間支援機能を有した市民活動支援センター（仮）の設置に係る検討
13	大阪市で各小学校区単位での地域組織を立ち上げたり運営していくために、中間支援組織と一緒に組織を見直したり、お金の運用の仕方や事業報告の作り方などを支援してきた。	
14	自治会の加入率が摂津市では40%を切り、後継者を確保できないという理由で機能不全に陥っている。 茨木市は、もうすでに地域のまちづくり協議会というものの推進を20年余りやっている。	⑥ まちづくり協議会（仮）の設立支援に係る検討